

農芸化学奨励賞の申請書の書き方について

【推薦者資格】 支部長または個人会員の方

【候補者資格】 次の 1)、2) 及び 3) を満たす個人会員

1) 本会会員で、1982年（昭和57年）4月2日以降生まれであること（満40歳以下であること）。但し、応募時までに出産に伴う産前／産後休業や育児休業を取得した者は、1回の出産につき1歳、性別を問わず年齢制限の延長を認めるものとする。また、介護休業を取得した場合は、その期間年齢制限の延長を認める。※平成30年度より資格追加

2) 2023年（令和5年）4月1日において、学生会員歴を含め原則として本会に3年以上継続して在籍していること（海外留学による休会または退会は考慮の対象となりません）。※平成26年度より資格追加

3) 本学会会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」に、発表済の論文が1報以上あること（BBB online に掲載され DOI がついていること）。

【提出書類】

- 1) 申請書（申請書の内訳は、推薦書・業績要旨・主要論文リスト等・付属資料・略歴（計8ページ））
- 2) 論文ファイル：主要論文のPDF3編
- 3) 日本農芸化学会における発表実績（本大会と支部会を別に題目、発表年を書いてください）

【提出期限】 2022年10月31日（月）正午

【書類作成に関する注意事項】

- 1) 題目は非常に一般的で広いものは避け、できるだけ具体的な業績が分かるものにしてください。
- 2) 年号は全て西暦で記入してください。
- 3) 書式の規定枚数を超えないようにしてください。別紙の添付は認められません。
- 4) 「主要論文リスト、総説、著書、学会発表」の欄には、必ず「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」掲載論文を1報以上記載し、下線を引いてください。
- 5) 「主要論文リスト、総説、著書、学会発表」の欄で添付書類として提出されるものの番号に○印を付してください。
- 6) 「発表された論文、総説、著書、学会活動等、他学会での受賞歴」欄の記載は、[原著論文]、[総説]等、項目毎にまとめ、年代順に記載してください。記載のない項目は

削除してかまいません。

- 7) 学会活動等については本会から委嘱、あるいは依頼されたものを記載してください。
(例、産学官交流委員会幹事(さんわか第7期)、関東支部 会計幹事、2017年度大会座長 など)

【電子申請に関する注意事項】

- 1) 「本会年次大会における発表回数」は本会年次大会講演発表データベースの「一般講演、ポスター発表」からご自身のお名前を検索し、演題数を記載してください。
https://jsbba.bioweb.ne.jp/jsbba_db/index.html
- 2) 「本会年次大会における発表回数」、「うち本人が代表発表者」に関しては上記データベースのご自身の氏名の前に「○」が記されている演題数を記載してください。
- 3) 「本会年次大会でのシンポジウムにおける発表件数」上記データベースの「シンポジウム」からご自身の氏名が記されている演題数を記載してください。

《問い合わせ先》

公社) 日本農芸化学会 事務局 授賞係

E-mail : jusho@jsbba.or.jp